

| 科目名<br>(科目番号)    | 成人看護学<br>援助論Ⅰ<br>(慢性期)<br>(時間割参照)                                                                                                                     | 教員名                          | 中島美香<br>岡嶋妙子<br>小川愛里<br>吉田和美 | 学科等                                                                                                                                      | 看護     | 必修      | 履修年次 | 2 |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------|------|---|
|                  |                                                                                                                                                       |                              |                              | 曜日・時限等                                                                                                                                   | 時間割表参照 | 単位数     | 2    |   |
|                  |                                                                                                                                                       |                              |                              | 授業形態                                                                                                                                     | 演習     | オフィスアワー | 別紙参照 |   |
| 授業概要             | 慢性疾患のある人に対する看護について主要な機能障害とそれに伴う症状をとりあげ、看護の実践方法を学習する。また、生活の再調整・再構築が必要な成人期患者へのセルフマネジメント支援、基本的な看護活動、がん看護、終末期にある患者への看護について学習する。                           |                              |                              |                                                                                                                                          |        |         |      |   |
| 目的・目標            | 目的: 慢性疾患を有する人々の機能障害やニーズに応じた看護援助方法について理解する。<br>目標: ①慢性疾患を有する人々に対する看護援助方法について理解する。<br>②機能障害が生じている成人期慢性疾患患者に対する基本的な看護活動について理解する。<br>③がん看護、終末期看護について理解する。 |                              |                              |                                                                                                                                          |        |         |      |   |
| 準備学習             | 毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。                                                                                                                       |                              |                              |                                                                                                                                          |        |         |      |   |
| 授<br>業<br>計<br>画 | 回                                                                                                                                                     | 授業項目                         |                              | 到達目標・学習内容                                                                                                                                |        |         |      |   |
|                  | 1                                                                                                                                                     | 慢性疾患の主な症状と看護                 |                              | 到達目標: 慢性期疾患に多くみられる主要な症状と看護について理解する。<br>学習内容: 慢性期看護を理解するための学習方法の確認や本科目を学ぶ上で必要とされる基礎知識の確認を行う。                                              |        |         |      |   |
|                  | 2                                                                                                                                                     | 慢性期疾患に多い主な症状に対する臨床推論【演習A】    | A-①                          | 到達目標: 論理的思考に基づく臨床判断のプロセスについて理解する。<br>学習内容: 患者のデータやサインをモニタリングして気づきを捉え、問題を明らかにする方法を学習し実践する。                                                |        |         |      |   |
|                  | 3                                                                                                                                                     |                              | A-②                          | 到達目標: 初期把握(客観的な観察)を行い、さらなる情報の知覚、情報の意味づけを理解する。<br>学習内容: 予測・判断に必要なフィジカルアセスメントから得られたデータの収集・モニタリングを行うことで、これまで得られた情報の整理、分析・解釈を行う。             |        |         |      |   |
|                  | 4                                                                                                                                                     |                              | A-③                          | 到達目標: 解釈・分析から仮説の優先順位を推論し、状況に適した看護実践について理解する。<br>学習内容: 関連する原因・誘因を想起し、仮説の棄却と採択を繰り返すことで、推論・判断の結果をもとにした必要な看護を導き出し、科学的根拠に基づいた援助を考える。          |        |         |      |   |
|                  | 5                                                                                                                                                     |                              | A-④                          | 到達目標: 看護実践の省察、報告・記録・評価の方法を理解する。症状看護に必要な知識の確認、自己の課題を明確化する。<br>学習内容: 省察、正確な報告・連絡・相談・コンサルテーション、記録を行い、振り返りを行う。                               |        |         |      |   |
|                  | 6                                                                                                                                                     | 慢性疾患の治療の特徴と療養環境、患者・家族への看護の基本 |                              | 到達目標: 慢性疾患の治療の特徴、療養環境をとらえ、慢性疾患患者と家族を理解する。<br>学習内容: 慢性疾患患者と家族の身体的、心理的、社会的特徴、治療の特徴、療養環境を理解し、看護師の役割を学習する。                                   |        |         |      |   |
|                  | 7                                                                                                                                                     | 慢性疾患患者への継続的な支援と連携            |                              | 到達目標: 難病についてや慢性疾患患者の退院支援、社会資源の活用、チーム医療を理解する。<br>学習内容: 難病を抱える患者について、継続的支援と連携(退院支援のプロセスと地域包括ケアシステム、社会資源の活用、災害時に備えた指導)を学習する。                |        |         |      |   |
|                  | 8                                                                                                                                                     | セルフマネジメントを促進する看護             |                              | 到達目標: セルフマネジメントに影響する要因、促進させる看護、教育的アプローチを理解する。<br>学習内容: セルフケア能力、セルフケア行動、ストレスマネジメント力、アドヒアランスに影響する要因のアセスメント、自己効力感、変容プロセス、アンドラゴジー、相談技術を学習する。 |        |         |      |   |
|                  | 9                                                                                                                                                     | 呼吸機能障害のある患者の看護               |                              | 到達目標: 呼吸機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護の特徴を理解する。<br>学習内容: 慢性呼吸不全患者、在宅酸素療法を導入している患者に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                              |        |         |      |   |
|                  | 10                                                                                                                                                    | 循環機能障害のある患者の看護               |                              | 到達目標: 循環機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴を理解する。<br>学習内容: 慢性心不全、不整脈、ペースメーカーを装着している患者に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                          |        |         |      |   |
|                  | 11                                                                                                                                                    | 内分泌調整機能障害のある患者の看護            |                              | 到達目標: 甲状腺機能亢進症/機能低下症患者の特徴、アセスメント、看護の特徴を理解する。<br>学習内容: バセドウ病/橋本病患者、甲状腺ホルモン療法を受ける患者に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                      |        |         |      |   |
|                  | 12                                                                                                                                                    | 栄養代謝機能障害のある患者の看護             |                              | 到達目標: 栄養代謝機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護の特徴を理解する。<br>学習内容: 慢性肝炎・肝硬変、インターフェロン療法を受けている患者、膵炎患者に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                    |        |         |      |   |
|                  | 13                                                                                                                                                    | 消化・吸収機能障害のある患者の看護            |                              | 到達目標: 消化・吸収機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護の特徴を理解する。<br>学習内容: 潰瘍性大腸炎・クローン病患者に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                                     |        |         |      |   |
|                  | 14                                                                                                                                                    | 身体防御機能障害のある患者の看護             |                              | 到達目標: 身体防御機能障害のある患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴を理解する。<br>学習内容: 全身性エリテマトーデス患者、ステロイド治療を受ける患者に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                       |        |         |      |   |
|                  | 15                                                                                                                                                    | 中間試験①(PBT試験)                 |                              | 到達目標: 紙上患者から得たデータや徴候の意味を理解し、症状を悪化させないための看護や患者に必要なセルフマネジメント支援についてアセスメントを行い、患者に必要な看護の方向性について自己の考えを記す。                                      |        |         |      |   |
|                  | 16                                                                                                                                                    | 中間試験②ガイダンス                   |                              | 到達目標: 慢性期患者に必要な症状看護・教育支援方法を振り返り、看護実践に向けた準備をする。<br>学習内容: 実技試験に向けたオリエンテーションを受け、紙上患者に必要な臨床推論、症状マネジメント、セルフマネジメント支援の看護実践が主体的に実施できるよう準備学習を行う。  |        |         |      |   |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                    |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17         | 内部環境調整機能障害のある患者の看護①                                                                                                                                                                                                                                              | 到達目標:内部環境調整機能障害のある患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴を理解する。<br>学習内容:糖尿病患者、簡易血糖測定、インスリン療法を受ける患者に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                                                  |
| 18         | 内部環境調整機能障害のある患者の看護②                                                                                                                                                                                                                                              | 到達目標:内部環境調整機能障害のある患者の特徴、アセスメント、看護援助の特徴を理解する。<br>学習内容:慢性腎臓病患者の検査・処置・治療時の看護(人工透析)に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                                                  |
| 19         | セルフマネジメントを迫られている患者・家族への支援【演習B】                                                                                                                                                                                                                                   | 到達目標:紙上患者・家族の全体像を把握し、必要な看護の方向性の具体的な方法を理解する。<br>学習内容:患者の特性を理解し、必要なセルフマネジメント支援方法についてグループワークを通して理解を深める。                                                               |
| 20         |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                    |
| 21         | 中間試験②(プレ試験)                                                                                                                                                                                                                                                      | 到達目標:慢性疾患をもつ症例についてデータや徴候の意味を情報化し、臨床推論を行うこと、また、適切な症状マネジメント、セルフマネジメント支援が実践できるように知識・技術の確認を行い、看護実践能力の修得に向けた自己の課題を明らかにすることができる。                                         |
| 22         |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                    |
| 23         | 中間試験②(OSCE)                                                                                                                                                                                                                                                      | 到達目標:慢性疾患をもつ症例についてデータや徴候の意味を情報化し、臨床推論を行うことで、適切な症状マネジメント、セルフマネジメント支援を実践することができる。                                                                                    |
| 24         |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                    |
| 25         | がん患者の特徴と看護                                                                                                                                                                                                                                                       | 到達目標:がん患者と家族の特徴、看護援助の特徴を理解する。<br>学習内容:全人的苦痛、除痛ラダー、社会資源の活用について学習する。                                                                                                 |
| 26         | がん治療をうける患者の看護①                                                                                                                                                                                                                                                   | 到達目標:がん治療の目的・管理方法・副作用と看護援助の特徴を理解する。<br>学習内容:支持療法(輸血療法)、放射線療法、薬物療法、免疫療法をうける患者への看護の特徴とセルフマネジメント支援について学習する。                                                           |
| 27         | がん治療をうける患者の看護②                                                                                                                                                                                                                                                   | 到達目標:造血幹細胞移植の特徴とその看護について理解する。<br>学習内容:造血幹細胞移植を受ける患者に必要な症状マネジメントからセルフマネジメント支援について学習する。                                                                              |
| 28         | がん治療をうける患者に必要な推論と看護実践【演習C】                                                                                                                                                                                                                                       | 到達目標:化学療法を受ける患者の看護援助・セルフマネジメント支援の具体的な方法を理解する。<br>学習内容:紙上患者の疾患や治療の特性を理解し、治療継続に必要な看護援助を学習する。                                                                         |
| 29         | 脳神経機能障害のある患者の看護                                                                                                                                                                                                                                                  | 到達目標:脳神経機能障害をもつ患者の特徴、アセスメント、看護の特徴について理解する。<br>学習内容:高次脳機能障害、筋萎縮性側索硬化症をもつ患者・家族のアセスメント、看護を学習する。                                                                       |
| 30         | 終末期および緩和ケアを必要とする患者・家族への看護                                                                                                                                                                                                                                        | 到達目標:人生の最終段階における医療(エンドオブライフケア)について理解する。<br>学習内容:意思決定プロセス、支援方法(アドバンスケアプランニング、代理意思決定支援)を理解し、その人らしさ(価値観・人生観・死生観、家族や社会背景)を支える看護援助方法を学習する。                              |
| 成績評価の方法・基準 |                                                                                                                                                                                                                                                                  | 対面時:課題・小テスト(25%) + 中間試験①②(25%) + 定期試験(50%)<br>オンライン時:課題・レポート(40%) + 小テスト(40%) + 最終確認テスト(20%)                                                                       |
| 教科書        | 1) 成人看護学 慢性期看護論 改訂第4版<br>2) 疾患と看護①呼吸器 第2版<br>3) 疾患と看護②循環器 第2版<br>4) 疾患と看護③消化器 第2版<br>5) 疾患と看護④血液／アレルギー・膠原病／感染症 第2版<br>6) 疾患と看護⑤脳・神経 第2版<br>7) 疾患と看護⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 第2版<br>8) 成人看護技術 がん・ターミナルケア 第2版<br>9) 成人看護技術 慢性期 第3版<br>10) がん看護 改訂2版<br>11) 根拠がわかる症状別看護過程 改訂4版 | 1) 鈴木久美ほか 編<br>2) 讀井將満ほか 編<br>3) 野原隆司ほか 編<br>4) 三原弘 ほか 編<br>5) 薊隆文ほか 編<br>6) 永廣信治ほか 編<br>7) 繪本正憲ほか 編<br>8) 神田清子ほか 編<br>9) 宮脇郁子ほか 編<br>10) 鈴木久美ほか 編<br>11) 百瀬千尋ほか 編 |
| 参考図書       | 1) NANDA-I看護診断 定期と分類 2024-2026<br>2) 根拠がわかる疾患別看護過程 改訂3版                                                                                                                                                                                                          | 1) 原書編集T・ヘザー・ハードマン、上鶴重美<br>2) 新見明子 編                                                                                                                               |
| 教員からのメッセージ | 既習の人体の構造・機能、病態・治療論の知識を習得していないと理解が困難な内容です。講義進度も早いいため、予習・復習など、積極的な自己学習が重要です。演習課題は、担当教員が確認し返却します。また、演習では自らが考え、発言できる機会を持ちますので積極的に参加してください。<br>この授業は、大学病院や地域医療支援病院などで勤務した看護師(教員)が担当します。<br>オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。                          |                                                                                                                                                                    |